

岩木川ダム 統管だより

050号
2021年
6月29日

津軽
ダム

完成後既往最大のダム効果を発揮

～洪水調節により下流河川の水位を低減～



岩木川ダム統管理事務所は、前線や低気圧に伴う降雨により、津軽ダムにおいて洪水が発生するおそれがあるとして、令和3年5月16日(日)23時00分「注意体制」を設置、2時間後の17日(月)1時00分に「警戒体制」へと移行しました。この降雨により津軽ダム流域平均雨量累計は121mmを記録するとともに、17日6時過ぎにはダムへの流入量が542m³/s（既往最大流入量）を記録しました。

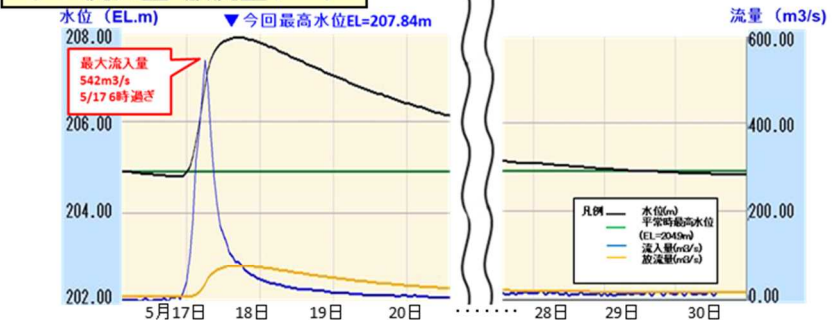


今回津軽ダムに貯め込んだ水の量は、つがる克雪ドーム（五所川原ドーム）約35杯分となり、ダムの洪水調節により上岩木橋水位観測所（弘前市下湯口字青柳）の水位を約1.86m低減出来たと推測しています。

またその後津軽ダムは、この一日で貯まった洪水を12日間かけてゆっくり少しずつ安全に放流し、ダムの機能を大いに発揮しました。



ダム流入量・放流量データ



津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake

浅瀬石川ダム

湖水循環装置 今シーズンの稼働を開始



令和3年6月1日8時30分、浅瀬石川ダムの水質保全施設“湖水循環装置”の今シーズンの稼働を開始しました。浅瀬石川ダムに設置している湖水循環装置は、昨年本格運用を開始し、今年で2年目となります。

貯水池に設置された3基の装置から空気を出し、水を連行・攪拌させることで、水道水の異臭味（かび臭）の発生原因である藍藻類を抑制します。



▲稼働開始！スイッチを入れて数分後、装置からブクブクと泡が出てきました。



浅瀬石川ダムでは、湖水循環装置の稼働により、引き続き貯水池の水質保全に努めてまいります。

パッカー君と行く 津軽のインフラ満喫コース

岩木川沿川の素敵な所をご紹介します!



①津軽ダムをしゅっぱーつ!



②芦野頭首工に到着。岩木川河口から11kmの所にあります。令和3年3月現在は工事中。工事現場を見るのも楽しいね! 完成が楽しみ♪



③道の駅十三湖高原 トーサムグリーンパークに到着。看板には牛さんが居るよ!!



④道の駅十三湖高原展望台2階からは、とっても長いローラー滑り台! 5階からの眺望も素敵! 緑の季節にまた来たいなあ。

道の駅十三湖高原展望台



⑧橋の上から水戸口突堤を臨む。岩木川の氾濫や強風が運んだ土砂で起きる閉塞による浸水被害を解消した導流堤。2016年に土木学会選奨土木遺産認定を受けました。



⑦岩木川河口の水戸口突堤(みとくちとってい)に到着! 日本海中部地震で亡くなった方に対する鎮魂と伝承の碑が設置され、2021年5月に災害伝承碑に登録されています。



⑥市浦歴史民俗資料館へ向かう橋の手前、中の島ブリッジパークには、土木学会選奨土木遺産のプレートや十三湖水戸口突堤の記念碑などが並んでいます。



⑤十三湖がある地域は、かつて津軽の豪族・安東氏が拠点とした場所。市浦歴史民俗資料館で当時の人々の暮らしや出土品が紹介されているよ!

⑨小泊ダム! こちらは、堤高33.5m 堤頂長121.5mの多目的ダム。小泊地区特産のイカが至る所に描かれています。小泊ダムの天端の車止めもイカになってるよ!



⑩ウィンドファームつがる風車群。2020年4月に運転を開始した日本最大級の風力発電所。12kmに38基の風車が並ぶ。見上げた時の大きさや音などは、体感の価値あり!

☆おまけ①☆ 岩木川河口にある十三湖は、ヤマトシジミの産地! しじみの旨味たっぷりの『しじみラーメン』は絶品! 飲み干したくなる一杯でした。



☆おまけ②☆ ウィンドファームつがる風車群の近くにある高山稻荷神社。千本鳥居と呼ばれる幾重にも連なる鳥居は圧巻!

ダム湖で爽やかアクティビティ ～ 初夏の虹の湖 ～

令和3年6月1日(火)、初夏の爽やかな日に浅瀬石川ダムのダム湖「虹の湖」でカヌーやサップを楽しむ1組のグループ取材しました。事前に虹の湖の調査も済ませ、自然を満喫できる航路はバッチリ◎虹の湖公園から出航し、パドルを漕いで颯爽と上流へ進んでいきました。

湖から聞こえる弾んだ声に、取材中のこちらまで楽しい気分♪虹の湖でのアクティビティを存分に満喫していました。

後日、「虹の湖は景色も最高で楽しかった。ぜひまた来たい！」とお喜びのお電話をいただきました！

★虹の湖・津軽白神湖・美山湖では、一部の“航行禁止区域”及び“航行注意(制限)区域”を除き、「湖面利用届出書」を提出していただければ、カヌーやボートを楽しむことができます(ただし、動力付きは基本的に認められません)。詳しくは、当ホームページ「虹の湖について」・「津軽白神湖・美山湖について」をご覧ください。



▲虹の湖の美しさに感動されていました



▲カメラに向かってポーズ！

「ダム吹鳴試験」を実施します

～大規模洪水時を想定し、避難行動に繋げていただくために～

浅瀬石川ダム・津軽ダムでは、適切な避難行動を促し人的被害を軽減するため、ダム下流地域の皆様に警報情報が確実に伝達されるよう“ダム放流警報設備”を設置しています。

本試験では、緊急放流(※1)の際に鳴らす内容を実際に放送し、警報設備(スピーカー及びサイレン)からの音の届き方を確認します。

地域の皆様におかれましては、是非この機会に放送内容をご確認いただき、水害に対する防災意識の向上と平常時からの備えにご活用ください。また、地域の皆様へは試験中の警報音等について、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※1「緊急放流」とは、計画以上の洪水によりダム湖に水を貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水をそのままダムを通過させ下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。

試験日時

浅瀬石川ダム: 令和3年7月8日(木)9:00～17:00

(予備日: 令和3年7月15日(木)9:00～17:00)

津軽ダム: 令和3年7月9日(金)9:00～12:00

(予備日: 令和3年7月16日(金)9:00～12:00)

12:00～13:00の間の試験は実施しません。また、気象状況等により、吹鳴試験を延期する場合があります。延期の場合は、事務所ホームページや警報設備にてお知らせいたします。

～詳しくは、岩木川ダム統管事務所ホームページをご覧ください～



中止のお知らせ

例年、7月21日～31日の「森と湖に親しむ旬間」に合わせ集客型イベントとして開催している浅瀬石川ダム「ダム湖ふれあいデー」と津軽ダム「津軽白神湖まつり」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年に続き今年も実施しないことをお知らせします。

編集後記

現在、津軽ダムの堤体内部見学を希望される方は、感染症の感染予防のため人数を制限して受入をし、通常ルートを変更してご案内しております。また、ヘルメットの他にマスク・手袋・フェイスシールドの着用もお願いしております。

これから暑い時期になりますので、体調によっては見学中であっても無理をなさらず、お気軽にスタッフにお申し出ください。みなさん笑顔で楽しい経験の下でお帰り頂けるよう、スタッフ一同努めて参ります。(森下)

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2
TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



〈ホームページ〉 〈Twitter〉

岩木川ダム統管事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito